

旭ヶ丘キリストの教会  
五旬節礼拝順序  
2025年6月8日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙 禱		一 同
讃 美※	聖歌336「いかに恐るべき」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌418「あなたの罪あやまちは」	一 同
教会学校		牧 師
讃 美	聖歌489「人生の海の嵐に」	一 同
聖書朗読	使徒行伝17:1-9	
奨 励	使徒行伝の福音(第60回)	牧 師
主 題	「今を生きる信仰」	
讃 美	聖歌151「妙なるいのちの」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌378「栄えあれや」	一 同
祝 禱※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第8章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

6/8(日)五旬節礼拝  
/9(月)  
/10(火)  
/11(水)  
/12(木)10:00祈り会  
/13(金)10-12:OBSカヌ  
/14(土)13-16子供オプンハウス



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「ポリュカルポスの殉教」(抄録)

荒井 献 編「使徒教父文書」(講談社学芸文庫、2007)

スミルナ(現代トルコのイズミル)に寄留する神の教会よりフィロメリウム(トルコ中西部フルギヤ地方の町)に寄留する神の教会へ。また全ての地に寄留している、聖なる正統なる教会に属する全ての方々へ。父なる神および私達の主イエス・キリストの憐れみと平安と愛とが満ち満ちますように。

(第9章)競技場に来ると、そこはひどい喧噪で、何も聞こえないうらいでした。ポリュカルポス様が競技場の中にお入りになると、天から声がして、「強くあれ、ポリュカルポスよ。男らしくあれ」と言ったのです。その声の主は誰にも見ることはできなかったのですが、私共の同信の者でそこに居合わせた者達はその声を確かに聞いたのです。ポリュカルポス様が引き出されて参りますと、地方総督が訊問して実際にポリュカルポス様であるのかどうかをまず尋ねました。あのお方がそれを肯定なさいますと、総督は信仰を否定させようと試み「お前もいっしょにして、少し自分を大事にしたらどうだ」などと申しました。そのほか、こういう場合合に言う事になっている種々のことを並べ立て、「皇帝閣下の守護神にかけて誓うがよい。そして悔い改めて、無神論者は滅びろと言うがよい」と申すのです。

ポリュカルポス様は厳しい顔をなさり、競技場に集まっていた無法なる異教徒どもを見つめ、その方を手で指して、溜息をつき天を仰ぎつつ「無神論者共は滅びろがよい」とおっしゃられたのです。けれども総督はなおも固執し、「誓え。誓ったら釈放してやろう。そしてキリストをそしるがよい」と申します。ポリュカルポス様はそれに答えておっしゃられました。「私は86年間もキリスト様にお仕えして参ったが、ただの一度たりとも、キリスト様は私に対して不正を加え給うようなことはなさらなかった。どうして私が、私を救い給うた私の主を冒瀆するようなことができようか。」

この時、あのお方は天を仰ぎ、おっしゃいました。「主よ、全能の神よ。汝の慈しみ、祝福し給う御子イエス・キリストの御父よ。この御子を通して我らは汝を知る知識を受けました。汝は天使と(宇宙の)諸力と全被造物と、また汝の御前で生きているすべての義なる輩の神であらせられます。汝がこの日この時に、キリストの(受難の)杯を飲んだ殉教者たちの数の中に私をも加え給い、精神も肉体もそろって聖霊の不死の中によみがえる永遠の復活に私をもあずからしめ給うたことにつき、汝を讃美いたします。偽りなく、真実なる神よ、汝が前もって備え、示し給うたがままに、そして汝が実現し給うがままに、今日汝の御前にあって豊かな喜ばれる供え物として、私もかの殉教者達の中に加えられますように。この故に、一切のことについて、汝の愛し給う御子、永遠にして、天上にいますイエス・キリストによって、汝を讃めたたえます。御子キリストにより、汝に、また御子ご自身と聖霊とに、今も、また来るべき世々も永遠に栄光のあらんことを、アーメン。」